

東日本ユニオン よこはま

JR東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦
編集者/業務部

「2021年度駅業務執行体制の再構築について」の提案を受ける!!

6月2日支社より「駅業務執行体制の再構築について」の提案を受けました。
施策の目的として「変革2027」に掲げたビジョンを具現化するために、効率的な業務執行体制を構築することとする。

具体的には、販売体制の見直し、ホーム業務体制の見直しを実施、駅業務委託を行うにあたり、管理区分及び地区区分の変更を実施するという下記の内容でした。

(1) 販売体制の見直し

保土ヶ谷駅（2021年9月15日をもって出札の閉鎖）	2021年10月1日実施
逗子駅（2021年12月20日をもって出札の閉鎖）	2022年1月1日実施
<i>2021年12月21日に「話せる指定席券売機」を導入</i>	
菊名駅（2021年12月20日をもって出札の閉鎖）	2022年2月1日実施
<i>2022年2月1日に「話せる指定席券売機」を導入</i>	
川崎駅・横浜駅・大船駅・橋本駅（出札窓口の削減）	2021年12月10日実施

(2) ホーム業務体制の見直し

横浜駅（乗客担当の徹夜化）	2021年12月10日実施
東神奈川駅・鎌倉駅（乗降終了合図の省略）	2022年3月1日実施
大船駅（東海道線下り、乗降終了合図の省略）	2022年3月1日実施

(3) 駅業務委託 及び (4) 区分及び地区区分の変更

保土ヶ谷駅	2021年10月1日実施
管理駅：横浜駅、地区：横浜	

参考：販売体制の見直し（標準数の変更なし）

小田原駅（2021年12月10日をもって出札窓口の削減）
尻手駅・根岸駅（2021年12月9日をもって出札の閉鎖）

安全・働きやすさを求め、
職場から声を上げていこう。